

業界の

声

● 山梨協豊事業協同組合

事務局

高原

健氏



業界の現況は？

現在、自動車業界は海外向けとして北米を中心に好調を維持していますが、国内販売は減少傾向にあります。山梨県内では、主な交通手段が「車」という大変恵まれた地域ではありませんが、バブル期に比べると販売台数は半分に落ち込み、厳しい販売環境が続いております。また、自動車性能がアップしたため、車に長く乗られるお客様が増え、買い換え自体が減少している状況もあります。さらに企業向け販売（営業車等）も、不況のあおりから減少傾向にあります。

お客様の傾向としては、自分の好きな車（スポーツカー等）を選ぶというより、自分のライフスタイルにあった車選び（子供がいるから1BOX等）をされているように感じます。また、最近では若い方が車ではなく他のものにお金をかけるようになっていような印象をうけます。他にも、最近のお客様は「軽自動車」か「高級車」のように二分しています。そのため、セダン等の中級クラスの自動車は販売に苦しんでいます。

原油高騰の影響では、自動車価格に影響はありませんが、お客様の反応として「軽自動車」もしくは「ハイブリッド車」へ傾きつつあります。燃費という面で影響が出ています。

今後の展開は？

自動車販売だけでなく、付帯サービスを強化していきたい、と考えています。「販売して終わり」と言うわけではなく、保険、修理・点検等の購入後のアフターサービスを通して、お客様とのつながりを大切にしていきたいです。また、自動車に何かあったらこの店舗、と選んで頂けるお店作りを目指していきたいです。

